

花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議からのご意見等への花巻市の考え方等一覧(R7. 12. 19開催会議)

No.	掲載ページ	具体の掲載箇所	区分	内容	意見に対する市の考え方	
1	資料1 花巻市の人口 動態の概況	5~6	将来人口目標達成の ための取り組みと実 績	質問	社会減について再び減少に転じている。また、年齢別にみると、21歳から24歳の転出が少し増えている。要するに就職のときに出ていく人が多いと思うが、どのように捉えているのか。	コロナ禍に人の流れの抑制があったため、令和元年から令和6年までは社会増に転じていたものと考えている。 社会減の要因については、進学や就職などによる若い世代の転出が多いことが最大の要因であると捉えている。 若い世代の転出を抑制するためには、移住定住に関する支援やまちの活性化を進めていくことが重要であると考えており、今後予定しているJR花巻駅東西自由通路等整備や新花巻図書館整備のほか、シーナシーナ花巻のような魅力あるコンテンツが街中にあるということも重要な要素になってくると考えている。
2	資料2 花巻市まち・ ひと・しごと 創生総合戦略 令和6年度効 果検証	6	基本目標4 ひとが 集う、安心して暮ら すことができる魅力 的な地域をつくる	質問	基本目標4について、その成果指標として掲げる重要業績指標(KPI)の実績がほかにならば停滞又は後退している項目が多い。魅力的な地域をつくることは住民が一番にやってほしいことと考えるが、この要因はどのように捉えているか。	魅力的なまちづくりを行い、特に若い世代に定着してもらうことは重要であるとと考えている。 今後予定しているJR花巻駅東西自由通路等整備や新花巻図書館整備等が進むことで、さらにまちの魅力が高まり、それに伴って成果指標として掲げる重要業績指標(KPI)の実績値も伸びてくるのではないかと考えている。
3	資料2 花巻市まち・ ひと・しごと 創生総合戦略 令和6年度効 果検証	4	基本目標2 花巻市 への新しい人の流れ をつくる	意見	市内高校卒業者の市内事業所への就職率が52.7%と、目標値を大きく上回っている。高校生を対象とした企業見学バスツアーなどの開催により、企業と高校生を引き合わせるような取り組みを実施したからだと思う。この取り組みは企業にとっても良い機会であったため、今後も市がバックアップして続けて、広げていければいいと思う。	市内企業に協力いただき、市内高校生を対象とした企業訪問の場を設けたことが、数値に影響したと考えている。市内企業の魅力発信の取組を地道にやっていくことが重要であると捉えており、今後も継続していきたいと考えている。
4	資料2 花巻市まち・ ひと・しごと 創生総合戦略 令和6年度効 果検証	5	基本目標3 結婚・ 出産・子育ての希望 をかなえる	意見	妊産婦交通費助成について、実績が255人と思ったより多くの方が利用していると分かった。分娩などが難しい花巻市になっているように聞いているため、安心して出産できることは非常にいいことだと思う。	出産場所は主に市内の工藤医院と県立中部病院であるという認識であり、助成制度の拡充などを行ったことで利用件数が増えたと考えている。出産や子育てに関する支援は重要であり、今後も継続していきたいと考えている。

花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議からのご意見等への花巻市の考え方等一覧(R7.12.19開催会議)

No.	掲載ページ	具体の掲載箇所	区分	内容	意見に対する市の考え方
5	資料3-1 地方創生関係 交付金活用事 業実施状況報 告書	4 高校を核とした新 たなづくり・人の流 れづくりプロジェク ト	意見	大迫高校の留学生受け入れの取組については、やはり一番の問題は地元からの入学者が非常に少ないことであると思う。県教委から再編計画等が出て、募集停止予定の高校がいくつもあるが、小さい学校でもやはり地域にとっては大事な学校である。市としてもできる限り支援を続けていただけるとありがたいと思う。	地元からの入学者が少ないことについては、少子化により子どもの絶対数が少ないことが大きな要因と考えている。そのため、今後も入学者数の確保は非常に厳しい状況であるが、地元にとっても花巻市にとっても大事な高校であると認識しており、引き続き、地方創生関係交付金なども活用しながら生徒確保対策を実施していきたいと考えている。
6	花巻市人口ビ ジョン	40~41 Ⅲ市民調査の結果 ②若い世代に魅力的 なまちになる取組、 ③花巻市が進める政 策の優先度	意見	人口ビジョンの中に市民調査の結果が掲載されており、その中の40ページ「若い世代に魅力的なまちになる取組」に関する設問で回答が多かった項目に対し、41ページの「花巻市が進める政策の優先度」に関する回答の兼ね合いが読み取れなかったが、今後、若い方の要望が優先度が高くなっていくと考える。この辺を意識していかなければいけないと思う。	市の政策は、市民からいただいた意見を踏まえたうえで総合的に判断し、優先度をつけているため、アンケート結果が必ずしも政策の優先度と一致しない部分があるが、可能な限り幅広い世代の意見を取り入れたまちづくりを進めていきたいと考えている。
7	資料4 第3 期まち・ひ と・しごと・ 創生総合戦略 の一部改正に ついて		意見	今回の改正案で新たに追加される事業に含まれているかわからないが、今はもう、AIなしでは考えられない時代になってきており、市としてはどの程度AIの活用を考えていて、計画されているのか。内部活用もちろんだが、市民に対してひらいていくことを意識した取組が必要だと思う。	AIの活用は、市の内部業務でも重点的に取り入れており、今後も推進していくこととしている。また、市民向けサービスについても、各種交付金等を活用しながら順次導入している。導入したサービスについては、より多くの市民に活用していただけるよう周知に努めていきたい。